

2017年5月8日

各 位

オリックス株式会社

## 米国の上場地熱発電事業会社に出資 ～戦略的提携による事業開発を推進～

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）は、地熱発電事業などを手掛ける Ormat Technologies, Inc.（本社：米国・ネバダ州リノ、CEO: Isaac Angel、以下「Ormat」）の発行済み株式の約 22.1%を約 627 百万米国ドル（約 707 億円）で取得することに合意しましたので、お知らせします。

Ormat は、地熱発電設備の設計・製造・販売・据付事業を行うのみならず、自ら地熱資源開発および地熱発電事業を手掛ける、世界で唯一の地熱事業垂直統合企業体です。1965年に創業し、ニューヨーク証券取引所（NYSE：ORA）、テルアビブ証券取引所（TASE：ORA）、フランクフルト証券取引所（FRA：HNM）に上場しています。地熱発電設備は、全世界において 2,200 メガワット(MW)の累積導入実績を有し、バイナリー式の発電設備導入量においては世界トップシェアとなる約 85%を占めています。また、地熱発電事業は米国のみならず中米やアフリカなどでも事業展開しており、727MW の設備容量を保有しています。

地熱発電は、気候の影響を受けず安定的に電力を供給できることから、石炭火力発電などと並びベースロード電源として活用されています。発展途上国に限らず、日本を含めた先進国でも成長が期待されており、世界の地熱発電市場は 2016 年時点での設備容量である約 14 ギガワット（GW）から、2021 年には 23GW 以上に拡大すると見込まれています。（※）

オリックスは、グループで運営する「別府 杉乃井ホテル」（大分県別府市）において、自家用としては国内最大規模となる 1.9MW の「杉乃井地熱発電所」を所有・運営しています。また 2017 年 3 月には東京都八丈町との間で地熱発電利用事業に関する協定を締結するなど、地熱発電事業に取り組んでいます。さらに、本件出資を通じて Ormat と戦略的に提携し、主として日本およびアジア地域における地熱発電事業などを推進していきます。

オリックスは、太陽光発電事業をはじめ、風力発電事業、地熱発電事業、水力発電事業などの再生可能エネルギー事業を世界各地で行っており、総設備容量は約 2GW に上ります。今後も積極的に事業を推進し、再生可能エネルギー市場におけるグローバルプレイヤーの地位を築いてまいります。

※ 出典：2016 Geothermal Power: International Market Update  
(2016, Geothermal Energy Association)

以 上

＜本件に関するお問い合わせ先＞  
グループ広報部 橋本・松村 TEL : 03-3435-3167

■本プレスリリースに関する注意事項

本プレスリリースに掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

従いまして、これらの見通しのみで全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。

これらの見通しと異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社がアメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出しております Form20-F による報告書の「リスク要因（Risk Factors）」、関東財務局長に提出しております有価証券報告書および東京証券取引所に提出しております決算短信の「事業等のリスク」に記載されておりますが、これらに限られるものではありません。

なお、本プレスリリースは情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。